

eYACHO for Business Ver.3 スタートガイド



目次

はじめに		インポート・エクスポート	
できること	4	PDFをインポートする	36
		PDFをエクスポートする	38
ノート編集画面	8	コンテンツのカスタマイズと配信	
ノート一覧画面	14	よく使う内容を登録する - アイテム	40
ノートの記入・閲覧		よく使うページを登録する	41
ページを追加する	16	- テンプレート	
ページに記入する	17	よく使うツールや機能を登録する	42
アイテムを追加する	24	- ツールボックス	
TODOや重要度を設定する	25	ページをほかのノートで利用する	43
・付箋を付ける		- ページクリップ	
アイテムやTODO・重要度で絞り込む	27	土木テンプレートを使う	
シェアノートの作成		水準測量（器高式）を使う	46
ノートをシェアノートにする	29	逆トラバース（放射）を使う	50
ノートのページをシェアノートにする	30	搭載土木アイテム	57
音声の録音・再生		付録	
音声を録音する	33		
音声を再生する	35	iOS版とWindows版の機能差異	

本書の用語について

アイテムとテンプレート

アイテムは、ノートのページに貼り付けて使う、表やイラスト・図形のことで。

テンプレートは、手帳のリフィルのように、ノートのページを追加するときに選べる用紙のことで。



あらかじめ次のものが用意されており、一覧から選ぶだけで使うことができます。

- **ベーシックアイテム・ベーシックテンプレート**
幅広く使える一般的なアイテム・テンプレートです。
- **eYACHO アイテム・eYACHO テンプレート**
eYACHOの特長な機能を使ったアイテム・テンプレートです。

アイテムもテンプレートも、任意に登録できます。誰が利用するかにより、登録先が変わります。

- **マイアイテム・マイテンプレート**
自分で登録して利用するアイテム・テンプレートです。
- **共有アイテム・共有テンプレート**
チームで共有するアイテム・テンプレートです。
チームの1人が登録すると、すべてのチームメンバーが利用できます。
チームメンバーは誰でも、共有されているアイテム・テンプレートのタイトル変更や削除ができます。

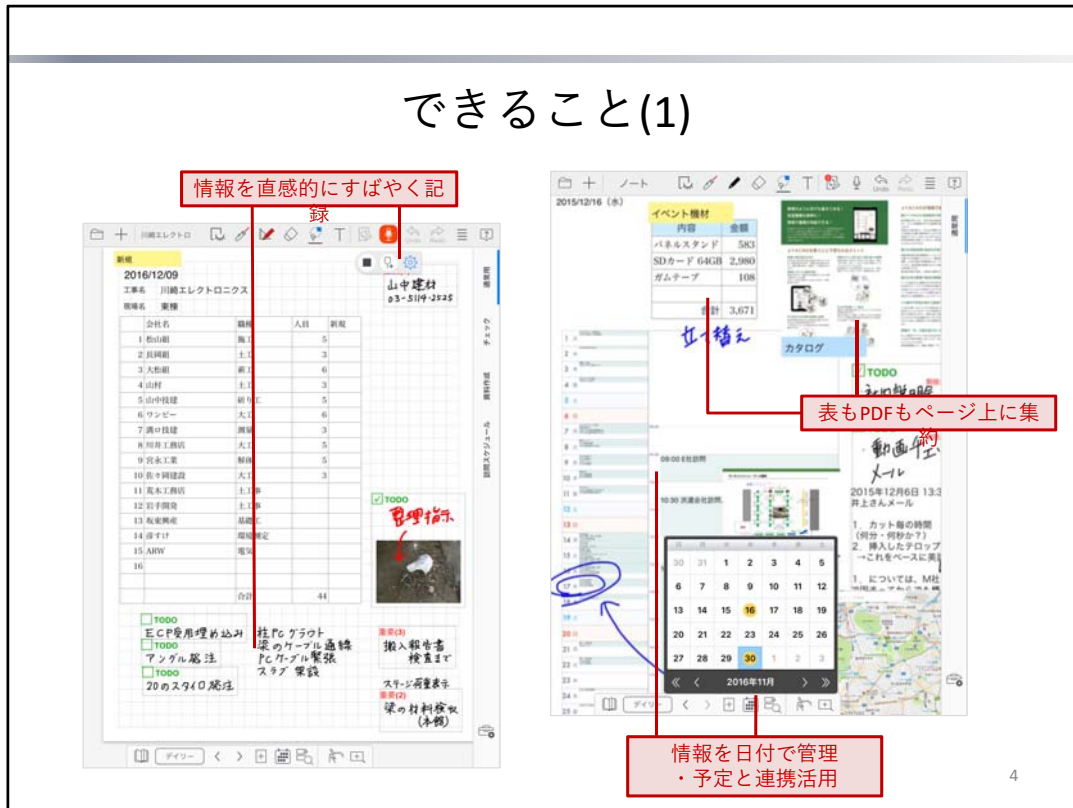
本書の画面図について

画面図では、操作の対象となる個所を  や  で示しています。

はじめに

機能の概要や画面など、あらかじめ知っておく必要のあることを説明しています。

できること(1)



eYACHOは、さまざまな情報を一元管理し、生産性の向上を支援する、「現場」のためのノートアプリです。

情報を直感的にすばやく記録

ページには、紙にペンで書くのと同じ感覚で、文字や図を自由に手書きできます。

写真・図形・Webページのイメージも、簡単にページに貼り付けられます。その場で写真を撮ってそのまま貼り付けることもできます。

同時に、音声を録音することも可能です。再生するときは、録音開始時のページに自動で切り替わるため、内容をスムーズに確認できます。

表もPDFもページ上に集約

ページに表を貼り付ければ、表計算ソフトのように使うことができます。データの入力から計算まで、ノート上ででき、アプリを切り替える必要がありません。

また、PDFのページを、ノートの1ページに複数配置できます。

PDF1つ1つを見るだけでなく、配置したPDF全体を俯瞰でき、新たな気づきや発見につながります。

情報を日付で管理・予定と連携活用

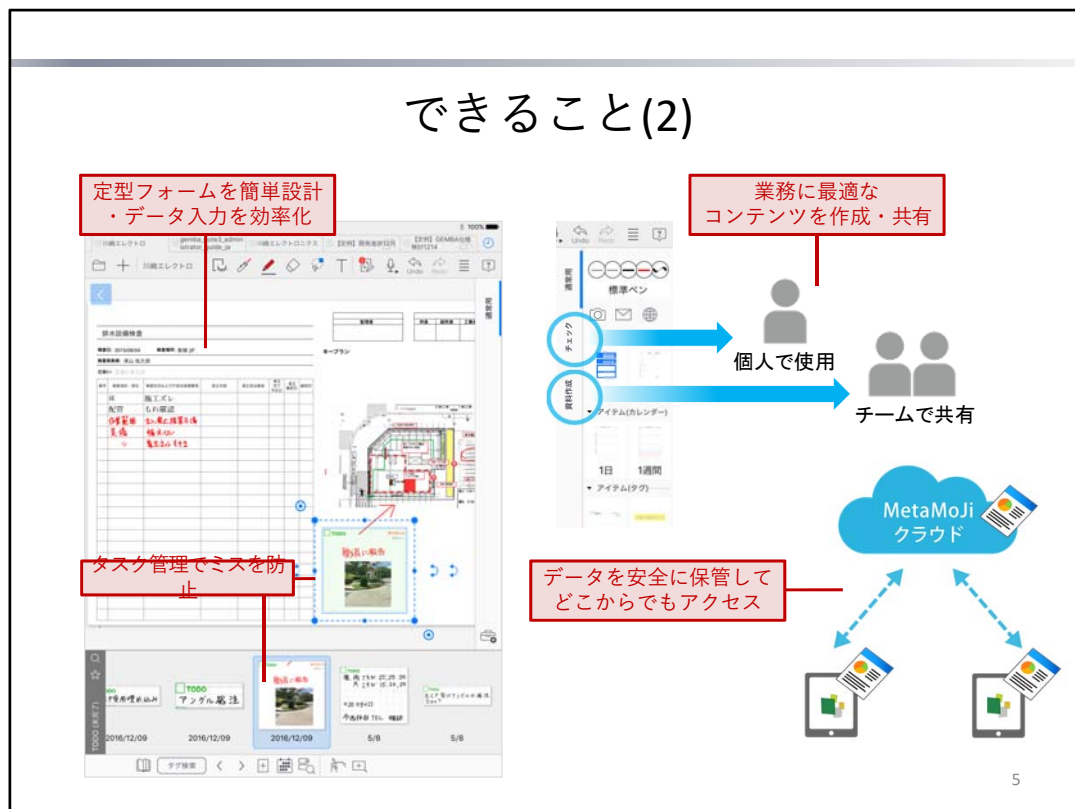
ノートのページは、日付を持つ**デイリーページ**と、日付を持たない**自由ページ**からなります。

デイリーページは、その日の日付が自動で入ったり、日付から該当するページを探せたりと、スムーズな日付管理をサポートします。

ページには、表示形式やデザインを自分好みにカスタマイズできる**カレンダーユニット**を複数貼り付けて使うことができます。iOS標準のカレンダーアプリや外部クラウドサービスのカレンダーで管理されている予定をページに集約して、表示・編集できます。

ある予定の内容だけ取り出してページに貼り付けたり、ノートの内容を予定にひも付けたりと、予定とノートの内容を連携させた利用が可能です。

できること(2)



タスク管理でミスを防止

ノートの内容には「TODO」や「重要度」を設定してタグ付けしたり、付箋を付けたりできます。あとから未完了のTODOを確認したり、重要度で絞り込んだりでき、確認・対応漏れの防止に役立ちます。

業務に最適なコンテンツを作成・共有

よく使うスタンプ・付箋や表など、ページの内容はマイアイテムや共有アイテムとして登録できるほか、ページ全体をマイテンプレートや共有テンプレートとして登録できます。

また、業務ごとにツールボックスを作成して、こうしたアイテムやテンプレートのほか、ペンセット・ノートや機能をすばやく呼び出せるショートカットを並べることができます。

ノートの内容もツールも業務に合わせて最適化し、共有することで、業務の効率化がはかれます。

定型フォームを簡単設計・データ入力を効率化

同じ種類のデータをよく入力する、決まった項目を日々記録する。こうした場合は、入力用の定型フォームを作成しておく便利です。

業務で使う帳票をベースにフォームを作成すれば、アプリ上でデータ入力が可能になります。

専用のフォーム部品が用意されており、目的に即したフォームを作成できます。

* 定型フォームを作成する方法については、フォーム作成ガイドをご覧ください。

データを安全に保管してどこからでもアクセス

作成したノートや、登録したテンプレート・アイテム・ツールボックスは、同期をとることでサーバーに保管されます。


複数のデバイスを使うときも、同じユーザーIDでログインすれば、MetaMoJiクラウドに保管されたデータが使えるようになります。

できること(3)



シェアノート

チームドライブにノート置いて、チームメンバーで同時編集できます。チームメンバーが離れた場所にいたとしても、同じノートを開いて、リアルタイムにノートの編集が可能です。

ノート一覧画面のノートに  が表示されます。

ノート編集画面のタイトル表示は  のように赤く表示されます。

チームのノートを個人ノートにリンクする

チームのドライブで共有しているノートから必要なページだけを個人ノートに貼り付けることができます。

個人ノートではサムネイルで最新内容を確認でき、ワンタップで編集することもできます。

チームドライブからノートを探して開くという手間を省くことができます。

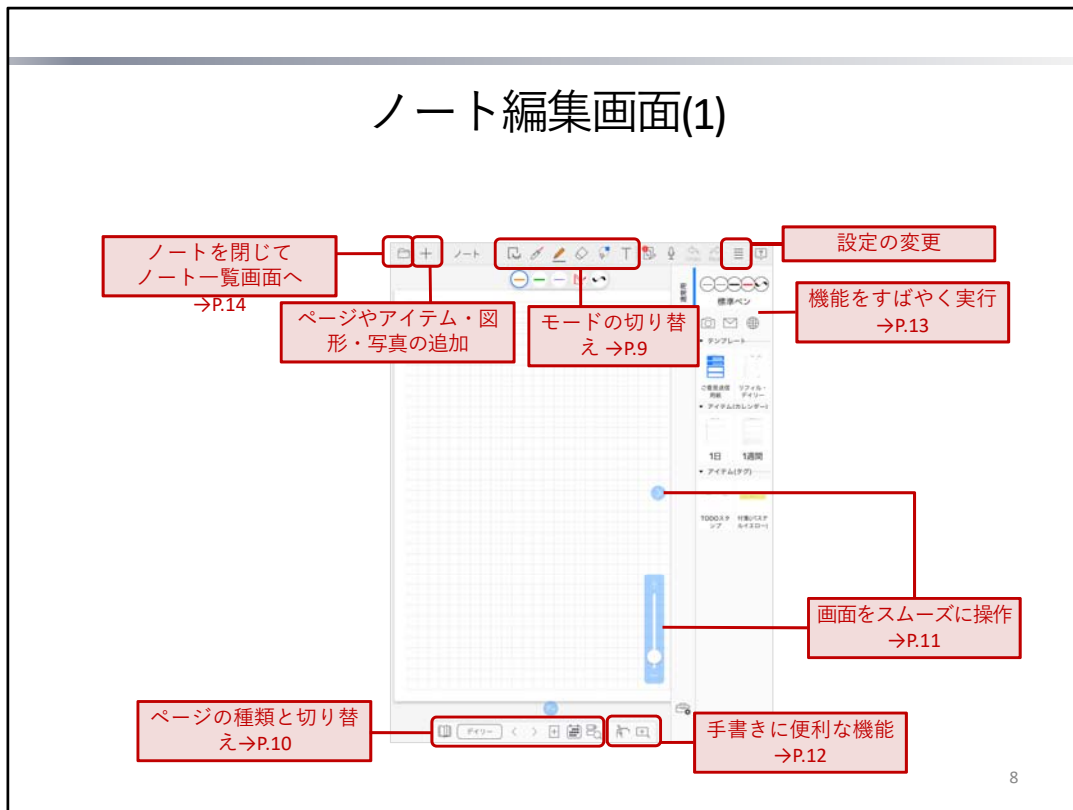
個人ノートのページをチームに共有する

個人ノートの必要なページの内容からシェアノートを作成・共有し、個人ノートではサムネイルで最新の編集内容を確認できます。



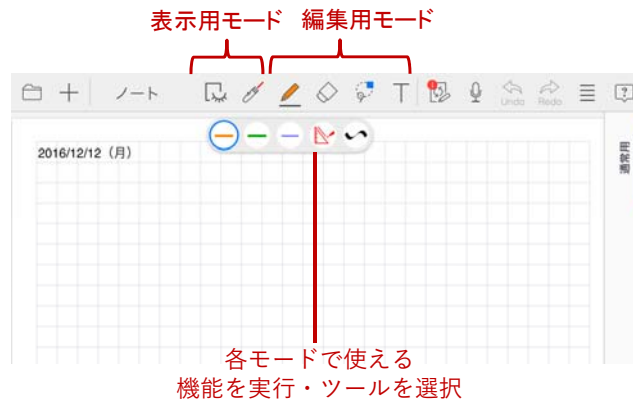
eYACHOは、アイコンをタップして起動します。

ノート編集画面(1)



初めて起動・ログインしたときは、ノート編集画面に新しいノートのページが表示されます。ノートを表示・編集するときは、画面のアイコンをタップしてモードや表示を切り替えたり、機能を実行したりします。

ノート編集画面(2)–モードの切り替え





9

ノート編集画面では、次のモードを切り替えてノートを表示・編集します。

モードは、ノート編集画面上部のアイコンをタップして切り替えるほか、編集内容に応じて自動で変わります。






<表示用>

表示専用のモードです。まちがって文字や図を書いたり、移動したりしてしまうことはありません。

	ビューモード	ノートの内容を確認するためのモードです。
	レーザーポインターモード	レーザーポインターを使ってノートの任意の部分を示すためのモードです。

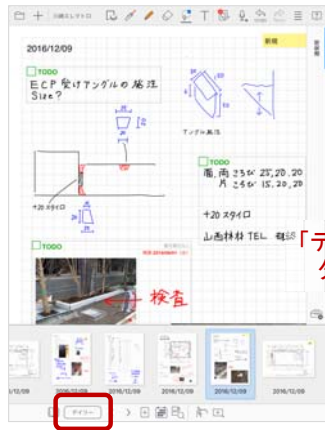
<編集用>

編集内容に応じてモードを使い分けます。

	ペンモード	ペンを使って、文字や図を書くためのモードです。
	消しゴムモード	消しゴムを使って、ペンで書いた文字や図を消すためのモードです。
	投げ縄モード	テンプレートやアイテムの項目をタップして入力したり、文字や図・写真・図形などを選んで編集するためのモードです。困むようにドラッグするか、長押しすると、文字や図・写真・図形などを選ぶことができます。文字や図を書くことはできません。
	テキストモード	テキスト（テキストユニット）を追加・編集するためのモードです。
	表計算モード	表を編集するためのモードです。 * 表を追加・編集するときに、自動でこのモードに切り替わります。

ノート編集画面(3)-ページの種類と切り替え

日付を持つデイリーページ




日付を持たない自由ページ



「デイリー」や「自由」を
タップして切り替え

長押しで表示モードを選択



*  をタップしてページの一覧を表示した画面です。

10

ページの種類

- 日付を持つデイリーページ
- 日付を持たない自由ページ


表示するページの種類の切り替え


初期状態では、表示モードが「デイリー」になっており、デイリーページだけが日付順に表示されます。

「デイリー」をタップすると、「自由」に切り替わり、自由ページだけが表示されます。


タップするたびに、「デイリー」と「自由」が切り替わります。

長押しすると、次の表示モードから選んで切り替えることができます。


デイリー	デイリーページだけを日付順に表示します。
自由	自由ページだけを表示します。
すべて	デイリーページを日付順に表示したあと、自由ページを表示します。
検索結果	前回  > 「タグ検索」 から検索した結果を表示します。 → P.25 アイテムやTODO・重要度で絞り込む

 をタップすると、ページの一覧を表示して、ページを切り替えることができます。

補足： 特定の日付のデイリーページを表示する

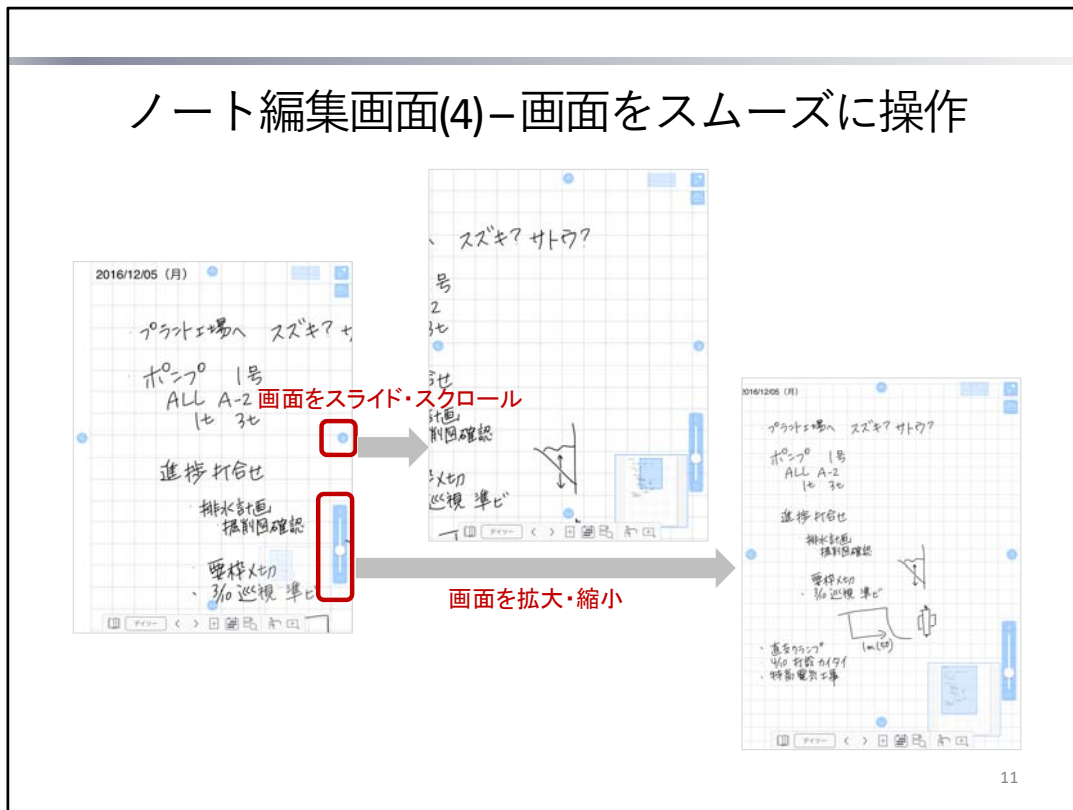
 をタップして、日付を選びます。

その日付のページがない場合、自動でページが追加されます。


- * 追加する用紙は  > 「システムオプション」 > 「既定用紙の設定」 で変更できます。







ノート編集画面(4)–画面をスムーズに操作



ノート編集画面では、スタイラスペンや1本の指で画面を操作するときに便利なワンタップスクローラーを使用することができます。

ワンタップスクローラーは、 > 「システムオプション」 > 「ワンタップスクローラー」で表示・非表示を切り替えます。

ノート編集画面では、通常、画面を拡大・縮小するのにピンチしたり、画面をスクロールするのに2本の指でスワイプしたりといった操作が必要です。ワンタップスクローラーを使うと、画面に次のアイコンやスライダーが表示され、スタイラスペンや1本の指でも画面をスムーズに操作できるようになります。

	<ul style="list-style-type: none"> • タップすると、画面をスライドします。 • 長押しすると、小刻みにスクロールします。 • ドラッグすると、スクロールします。
	<p>前後にページがある場合に表示されます。 タップすると、ページを切り替えます。</p>
	<p>最後のページで用紙の下端・右端までスクロールした場合に表示されます。 タップすると、ページを追加します。</p>
	<p>スライダーをドラッグして画面を拡大・縮小します。</p>

* テキストモード・ビューモード・レーザーポインターモードのときや、ディテールウィンドウを表示しているときは使えません。

ノート編集画面(5)–手書きに便利な機能

をタップしてリストガードを表示

をタップしてディテールウィンドウを表示

手を置いて操作できる

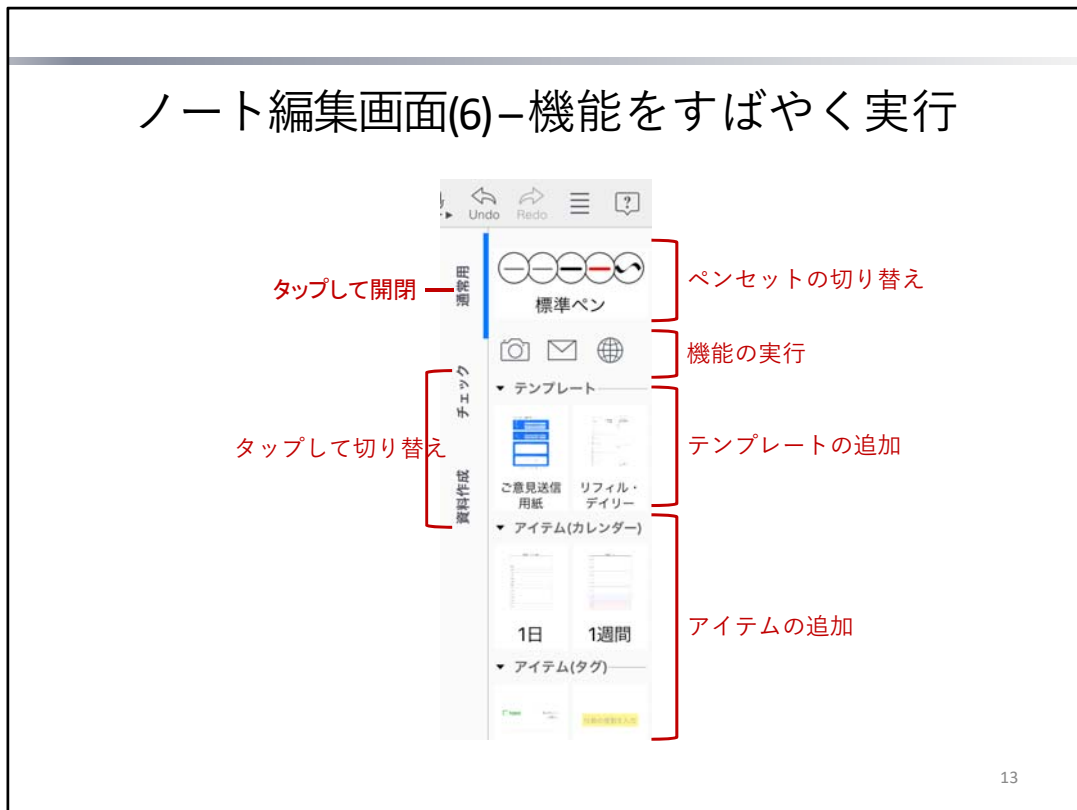
編集領域の一部を拡大して
ペンや消しゴムを使える

12

ノート編集画面右下のアイコンをタップして、手書きに便利な機能を使うことができます。

	リストガード	手を置いて操作するためのリストガードという領域を表示します。
	ディテールウィンドウ	細かな文字や図を書くときに、編集領域の一部を拡大するディテールウィンドウを表示します。 ページの罫線やマージンにあわせて文字を書くときにも便利です。

ノート編集画面(6)–機能をすばやく実行



ノート編集画面の右側には**ツールボックス**が表示されます。

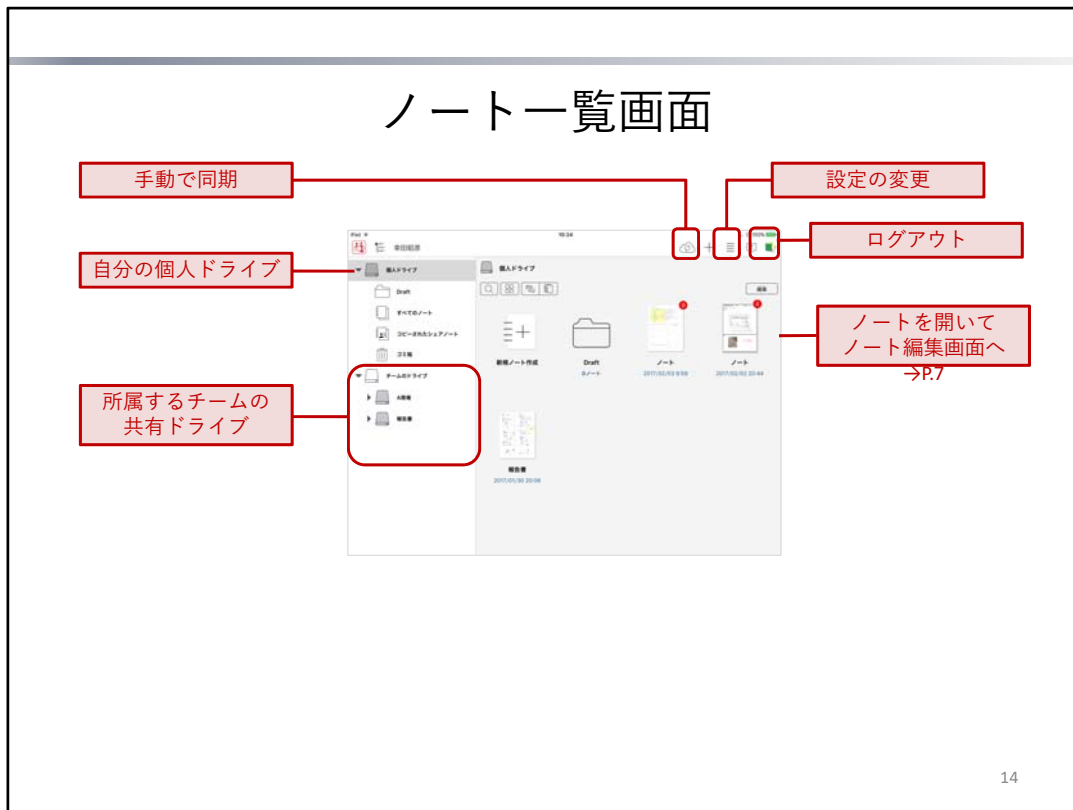
ツールボックスは、「通常用」などのラベルをタップして、開閉したり切り替えたりします。

ツールボックスを開くと、登録されているアイコンが表示され、タップしてペンセットを切り替えたり、該当する機能を実行したりできます。

* 初期設定では、「通常用」が表示されます。このほか、所属しているチームのツールボックスがあれば、それもあわせて表示されます。

ツールボックスを新しく作成して、自分だけで便利に使ったり、チームで共有して業務の効率化をはかったりすることもできます。

→ P.40 よく使うツールや機能を登録する – ツールボックス



ノート編集画面で >[ノート一覧画面へ]をタップしてノートを閉じると、**ノート一覧画面**が表示されます。

ノート一覧画面では、自分が作成したノートや、共有されているノートを確認できます。ノートを編集するときは、ノートをタップして開きます。新しいノートを作成するときは、「新規ノート作成」をタップします。

ノートの保存先

作成したノートは、**個人ドライブ**または**チームのドライブ（共有ドライブ）**に保存されます。

個人ドライブ	ユーザーごとに自動で用意されるデータの保存場所です。 ここに保存されたノートは、自分だけが見ることができます。
チームのドライブ	チームごとに用意されるデータの保存場所です。 チームに所属するメンバー（ チームメンバー ）は、アプリにログインするだけで、所属するチームのドライブを使えるようになります。

同期による自動保存・共有

アプリ使用中は、同期が自動で行われ、ノートや登録したデータ（アイテム・テンプレート・ツールボックスなど）がMetaMojiクラウドに保管されます。同時に、MetaMojiクラウドのデータがダウンロードされ、最新のデータが使えるようになります。

チームのドライブでの変更も、同期により、チームメンバー間で共有されます。

デバイスを追加・移行するときも、各デバイスでログインして同期をとれば、データの共有・移行が可能です。

ログアウトによるローカルデータの削除

ログアウトすると、ダウンロードされたローカルのデータは削除されます。

ログインのたびに、MetaMojiクラウドのデータがダウンロードされ、使えるようになります。

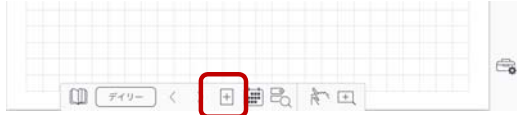
* ログイン先の情報など、同期の対象とならない設定やデータは、ログアウト時にもローカルに保存されたままになります。

ノートの記入・閲覧

ノートにページを追加して記入する方法を説明しています。

ページを追加する

既定用紙で追加する





用紙を選んで追加する




16

既定用紙で追加する

 をタップします。

* 追加する用紙は  > 「システムオプション」 > 「既定用紙の設定」で変更できます。

用紙を選んで追加する

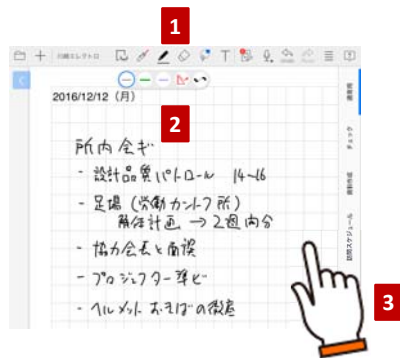
 > 「ページを追加」 > 「用紙を選んで追加」をタップして、テンプレート一覧から用紙を選びます。

補足：追加したページの種類と日付

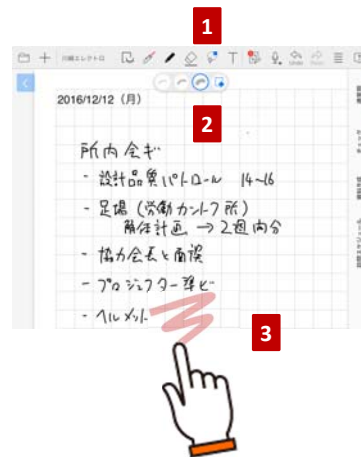
追加したときに表示されているページと同じ種類（デイリーページまたは自由ページ）になります。
デイリーページの場合、追加した日付になります。

ページに記入する(1)-ペンで書く・消す

ペンで書く






消しゴムで消す



17




ページには、ペンで文字や図を書いたり、写真や図形を追加したりして、自由に記入できます。

ペンで文字や図を書く

1.  をタップしてペンモードにします。
2.  を再度タップしてパレットを表示し、 を選びます。
3. ページ上をドラッグして、文字や図を書きます。




消しゴムで消す

ペンで書いた文字や図は、消しゴムで消すことができます。

1.  をタップして消しゴムモードにします。
2.  を再度タップしてパレットを表示し、消しゴム  を選びます。
3. 消したい部分をドラッグします。

ヒント：画面を拡大・縮小して書く・消す

ページ上でピンチします。

 >  または  をタップして、ページを画面いっぱいに表示することもできます。

ページに記入する(2)-図形や写真を追加する

図形や写真を追加する



18

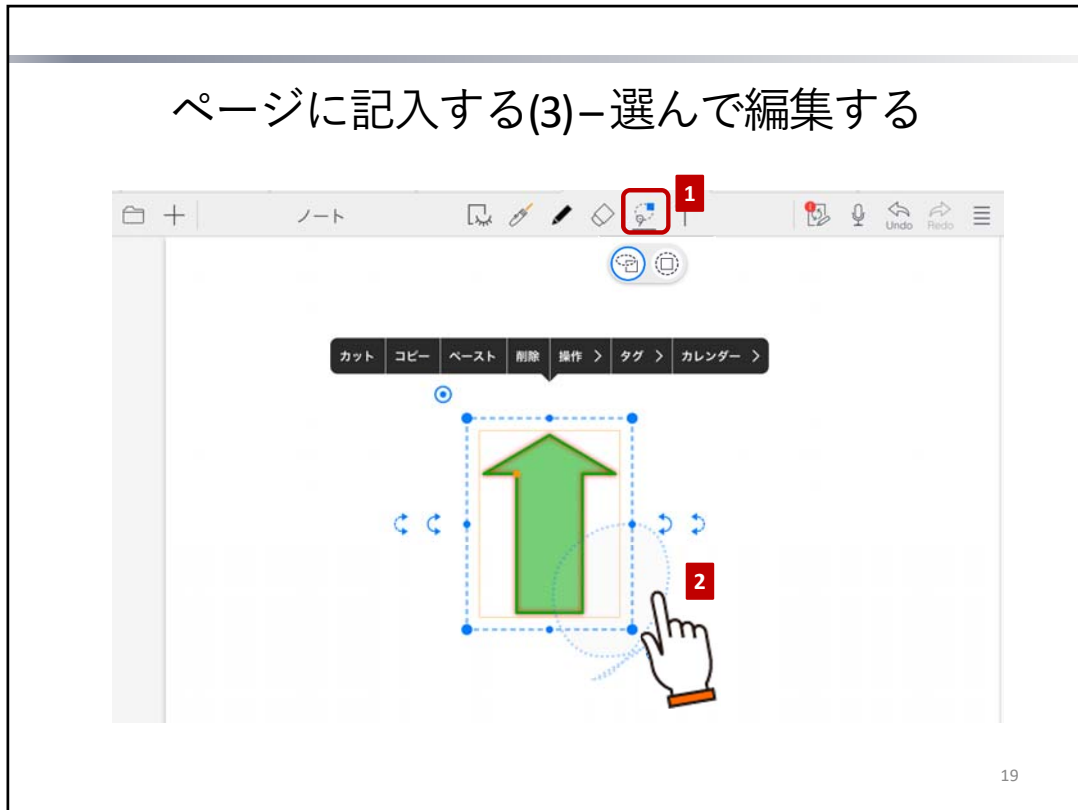
図形や写真を追加する

✚ > 「図形を追加」・「写真を追加」から、図形や写真を選んで追加できます。


注意：写真を追加するには、写真やカメラへのアクセスを許可してください

アクセスを求めるメッセージが表示されたときは、許可してください。
アクセス権がないことを知らせるメッセージが表示されたときは、ホーム画面の「設定」>「プライバシー」の「写真」や「カメラ」で「eYACHO」をオンにします。


ページに記入する(3)-選んで編集する

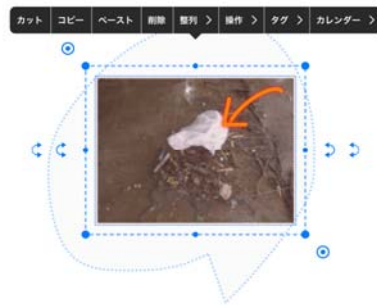



選択する

1.  をタップします。
2. 図形を囲みます。

と の違い

 選びたいものを一部を囲むと選べます。



 選びたいものすべてを囲むと選



写真と手書きの線が重なっている場合などに手前のものだけを選びたいときに便利です。


<移動する>

写真や図形をドラッグします。



<サイズを変える・回転する>

サイズを変えます。

 をドラッグします。

 は45° ずつ回転します。

回転します。

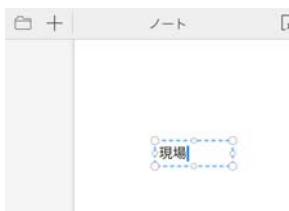


ページに記入する(4)-テキストを入力する



テキストを入力する

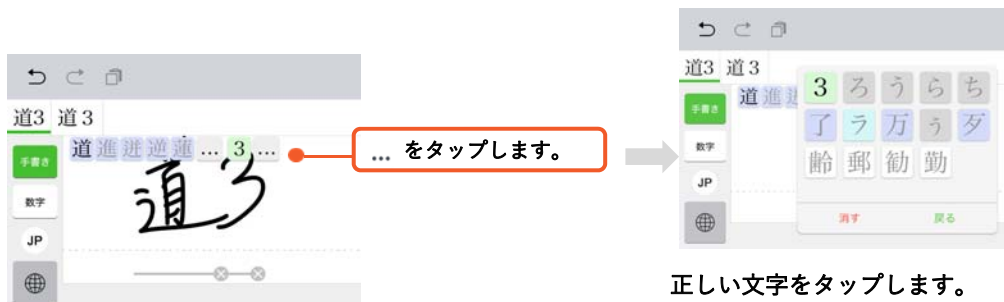
1. T をタップします。
2. 入力したい位置をタップします。テキスト枠が追加されます。
3. フォントやサイズを選びます。
4. 文字を手書きします。
5. 入力したい候補を選んでタップします。



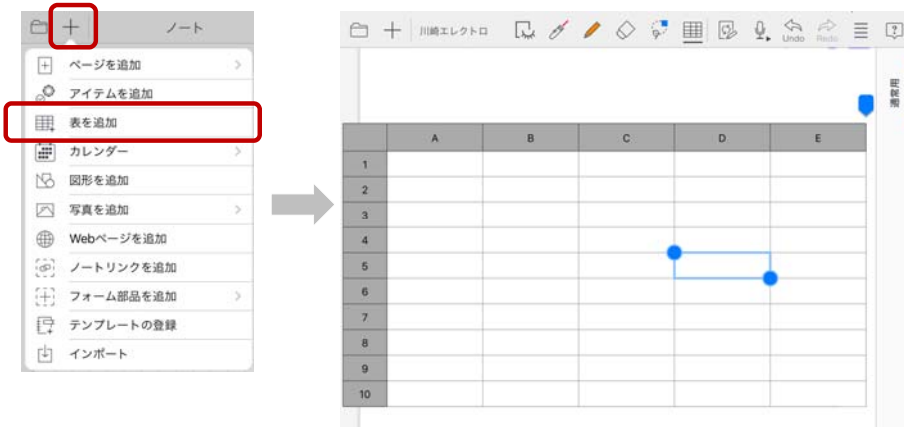
テキストが入力されました。画面をタップすると、文字を入力する画面が消えます。

<手書き文字が正しく認識されないとき>

「ろ」が「3」と認識されてしまった場合



ページに記入する(5)–表を追加する



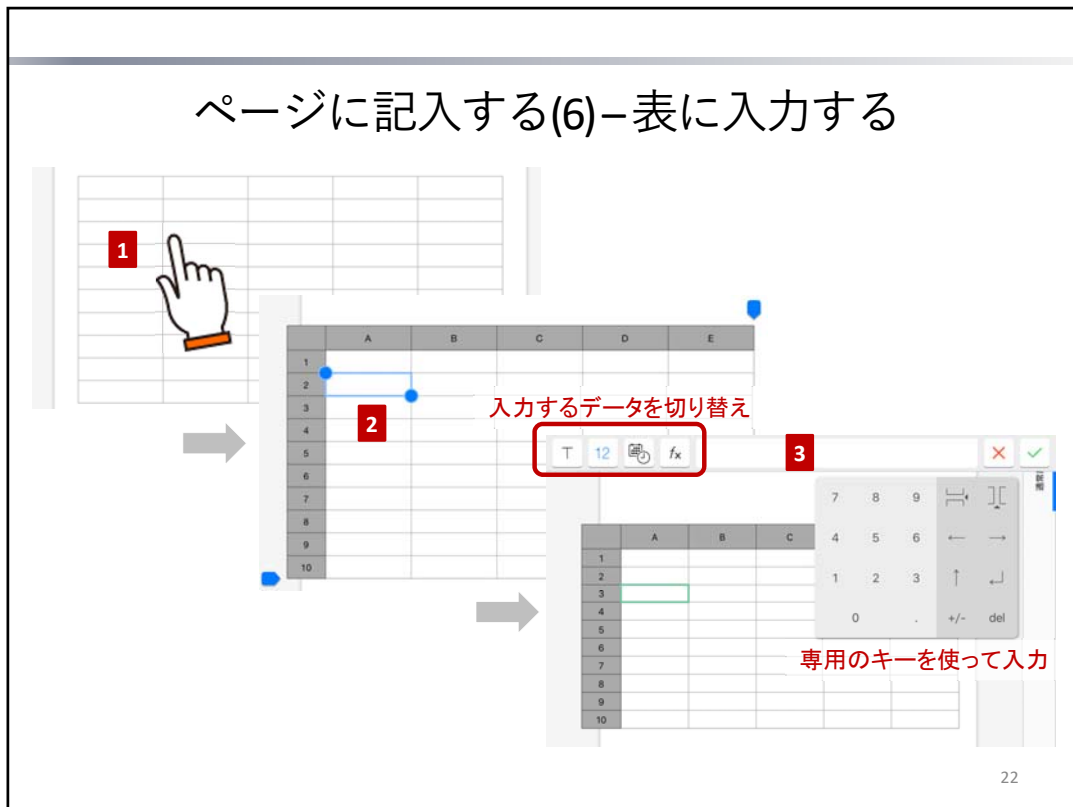
21

表を使うと、データを格子状のマス目（セル）に入力できます。
数値やテキストのほか、数式を入力して、ほかのセルの値を参照したり計算したりできます。

✚ > 「表を追加」をタップすると、表が追加され、セルを選んだ状態になります。

- * 表も、写真や図形と同じ要領で、移動したりサイズを変更したりできます。
→ P.18 ページに記入する(2)–図形や写真を追加する

ページに記入する(6)–表に入力する



1. 投げ縄モードで表をタップして**表計算モード**にします。
2. セルをダブルタップします。
セルにデータを入力できる状態になります。セルに緑色の枠が付き、画面上部に入力ラインが表示されます。
3. セルをタップしてデータを入力します。
数値・日付時刻や期間・数式を入力するときは専用のキーが表示されるので、これを使って入力します。

<入力するデータを切り替える>

入力ライン左側のアイコンをタップして、データの種類を選びます。

T	テキスト
12	数値
	日付時刻や期間 * 日付時刻と期間は、キーの「→期間」・「→日時」をタップして切り替えます。
f_x	数式

<データをセルに反映して入力続ける>

矢印キーをタップすると、入力ラインのデータがセルに反映され、上下左右のセルに移動します。

- * テキスト・日付時刻や期間・数値の入力中は、ほかのセルをタップしても、入力したデータが反映され、そのまま入力続けることができます。
- * 数式の入力中は、ほかのセルをタップすると、そのセルへの参照が数式に追加されます。セルの移動にはなりません。

<入力を終わる>

✓ をタップします。

入力したデータを反映しないで入力を終わるときは ✕ をタップします。


- * 数値がセルに収まらないときは「###」と表示されます。

ページに記入する(7)-表の行列を増やす・減らす




行を増やす・減らす

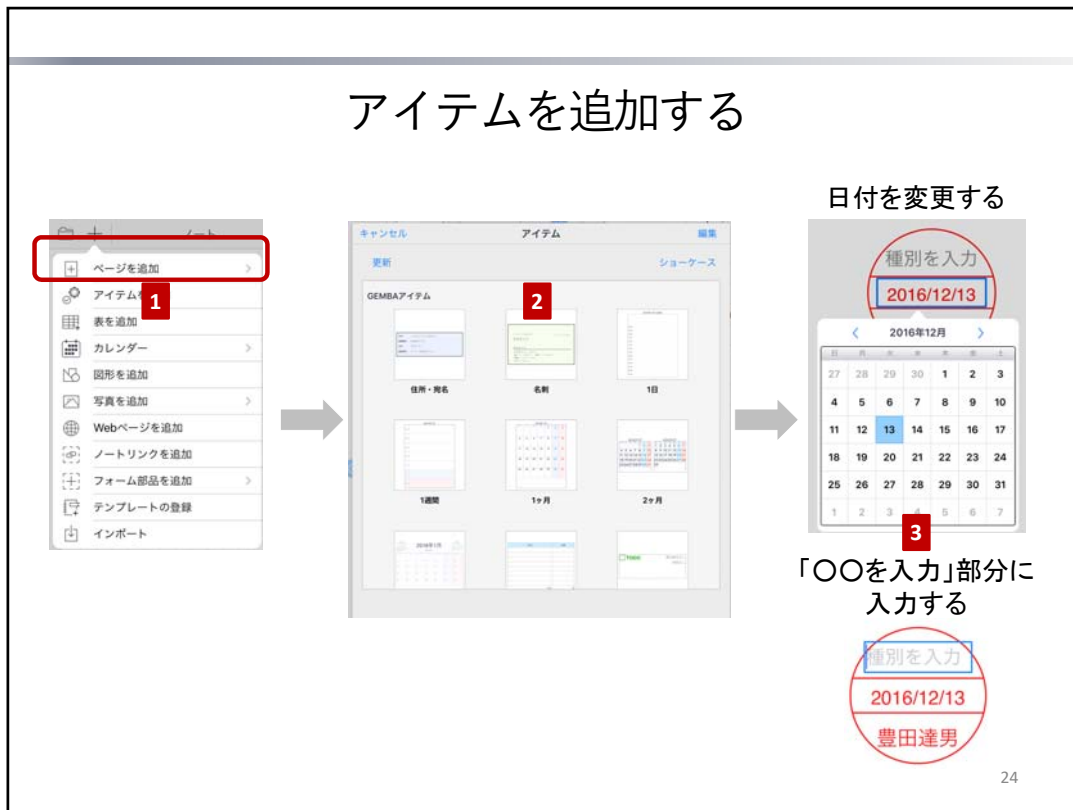
投げ縄モードで表をタップして選んだあと、セルをタップして選び、次のどちらかの方法で操作します。

- 表の左下に表示される  マークを上下にドラッグ
- 見出し (1列目) をタップして行を選んだあと、もう一度タップして、表示されるメニューの「行挿入」・「行削除」をタップ

列を増やす・減らす

上記「行を増やす・減らす」と同じ要領で操作します。

表の右上に表示される  マークを使ったり、見出し (1行目) をタップして列を選んだりします。



表やスタンプ・付箋などが、**アイテム**として用意されており、一覧から選ぶだけでページに追加できます。

1. > 「アイテムを追加」をタップします。
2. アイテムをタップして追加します。
 - * アイテムも、写真や図形と同じ要領で、移動したりサイズを変更したりできます。
 - P.18 ページに記入する(2) - 図形や写真を追加する
3. 必要に応じて、追加されたアイテムをタップして、データを記入・変更します。
 - <日付を変更する>
 - アイテムの日付は、アイテムを追加した日付に応じて自動で設定されます。
 - この日付を変更するときは、投げ縄モードで日付が表示された部分をタップして、日付を選びます。
 - <「〇〇を入力」部分に記入する>
 - 投げ縄モードで「〇〇を入力」と表示された部分をタップして、テキストを入力したり、イメージを追加したりします。
 - <表やその他の項目に記入する>
 - 表は、各セルに入力します。
 - P.20 ページに記入する(4) - 表に入力する
 - アイテム上に、ペンで書いたり、写真や図形を追加したりして、自由に記入することもできます。
 - アイテムを選んだときに枠が表示される場合は、その枠をタップして、枠の中にテキストや数値を入力することもできます。

ヒント：TODOスタンプ・重要スタンプや付箋を貼り付けた場合

TODOスタンプ・重要スタンプは、TODOタグ・重要タグと同じ要領で、それぞれ優先順位・期限や重要度（1～5）を変更します。付箋は種別を設定します。

→ P.23～TODOや重要度を設定する・付箋を付ける



ページに記入した内容や追加したアイテムには、TODO・重要度を設定したり、好きな種別の付箋を付けたりすることで、タグ付けできます。これにより、あとから該当箇所をすばやく検索できます。

1. 対象とする内容を、投げ縄モードで囲むようにドラッグして選びます。
2. 表示されるメニューの「タグ」をタップし、付けたいタグを選びます。
- * アイテムのTODOスタンプ・重要スタンプ・日付スタンプや付箋を貼り付けて、タグ付けすることもできます。
→ P.22 アイテムを追加する

TODOの詳細を設定する

1. 投げ縄モードでTODOタグを選びます。
2. 表示されるメニューの「タグ」>「TODOの設定」をタップします。
3. TODOの優先順位・期限やカテゴリ・メモを設定します。
- * 優先順位・期限・ステータスは、投げ縄モードでTODOタグの該当箇所をタップして、変更することもできます。



ヒント：未完了のTODOの数がわかる

未完了のTODOがある場合、ノート一覧画面の各ノートのアイコン右上にその数が表示されます。また、アプリのアイコン右上には、個人ドライブにあるノートの未完了のTODOの合計数が表示されます。

川崎エレクトロニクス 本社棟 2016/03/04 11:47

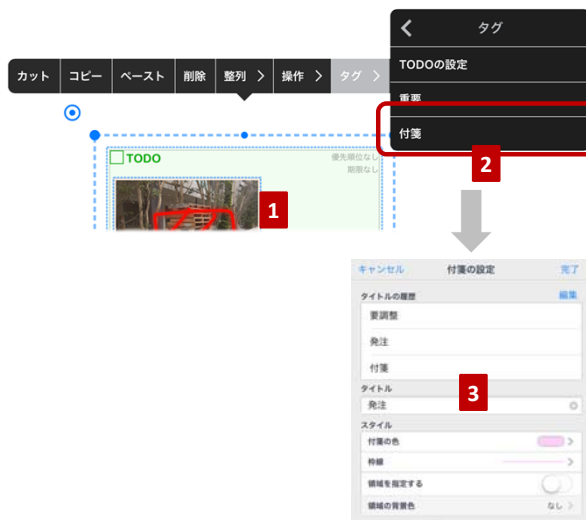
スケジュール2015 2016/03/04 11:43

TODO・重要度を設定する・付箋を付ける(2)

重要度を変更する



付箋の種別を設定する



26

重要度を変更する

投げ縄モードで重要タグをタップして、重要度（1～5）を選びます。

付箋の種別を設定する

付箋は、投げ縄モードで「付箋」または「種別を入力」と表示された部分をタップして、好きな種別を入力できます。

付箋で使う種別をある程度決めておくと、検索しやすくなります。

次の手順で、これまでに使った種別の履歴を確認したり、履歴から選んで種別を設定したりできます。

1. 投げ縄モードで付箋または付箋タグをタップします。
2. 表示されるメニューの「タグ」>「付箋の設定」をタップします。
3. 履歴から種別を選んだり、新しく入力したりします。

アイテムやTODO・重要度で絞り込む



TODO・重要度・付箋やテンプレート・アイテムの種類を条件に検索して、該当する個所を表示できます。TODOをステータス・重要度別に検索するための条件はあらかじめ用意されており、一覧から選ぶだけで検索できます。

1. ☰ > 「タグ検索」をタップします。
 2. 検索条件を選んで「検索」をタップします。
該当するアイテムや、TODO・重要度が設定された内容が、検索結果一覧に表示されます。
検索結果一覧で検索結果をタップすると、該当個所が表示されます。
- * 表示モード「検索結果」をタップすると、「デイリー」に切り替わり、デイリーページの表示に戻ります。
→ P.10 ノート編集画面(3) - ページの種類と切り替え

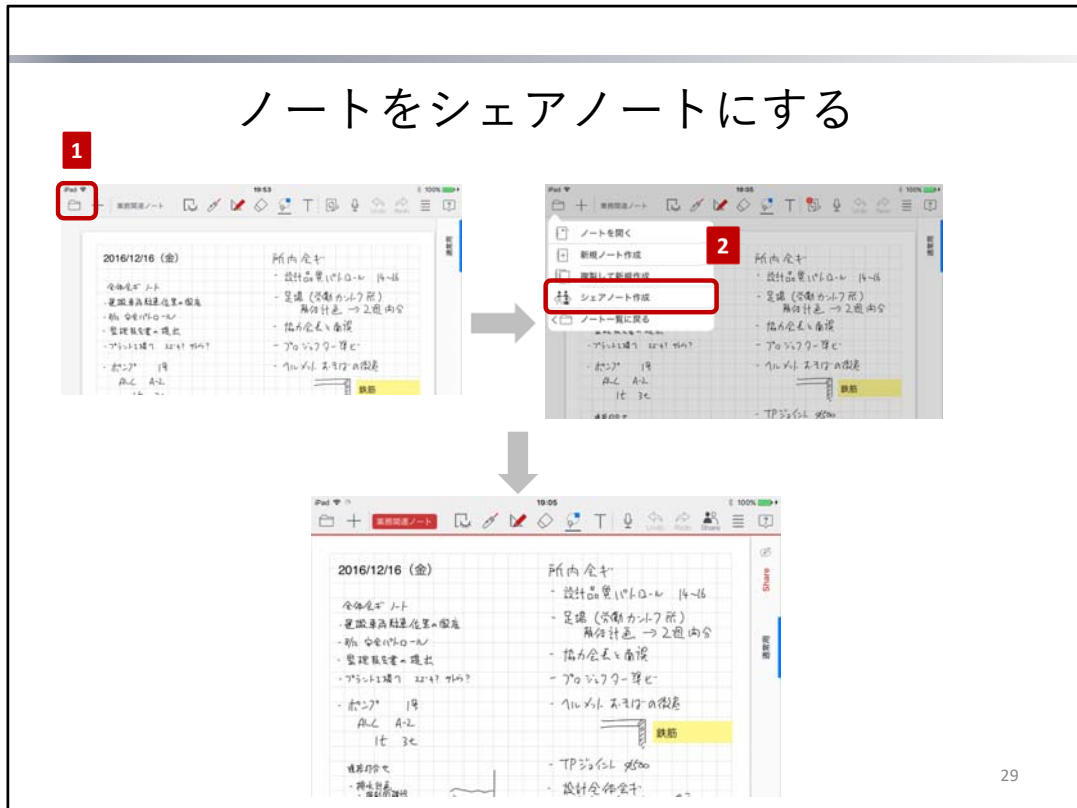
シェアノートの作成


シェアノートを作成する方法を説明しています。

- ・シェアノート

離れた場所に居てもほかのメンバーとノートを共有し、同時に書き込みができるノートです。

ノートをシェアノートにする



1. ノートを開き  をタップします
2. 「シェアノート作成」をタップします。
シェアノートの情報を設定します。

キャンセル シェアノート作成

1. タイトル
ノート

2. 共有するチーム
建設本部 ルート >

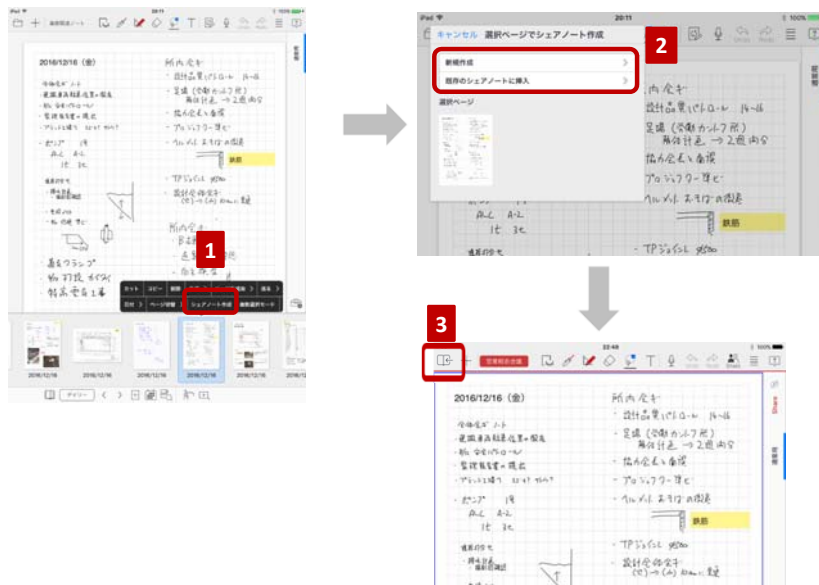
※ 詳細設定
チームメンバーのみ編集可能

パスワード なし >


作成

- 「タイトル」に、シェアノートのタイトルを入力します。
- 「共有するチーム」で、「チームのドライブ」を選択します。
- 「※詳細設定」で、チームメンバーのみ編集可能か、すべてユーザーが編集可能かを設定します。
* シェアノートを作成したあとでも設定・変更できます。


ノートのページをシェアノートにする




30

シェアノートにしたいノートを開き、ノート編集画面下部の  をタップして、ページ一覧を表示します。

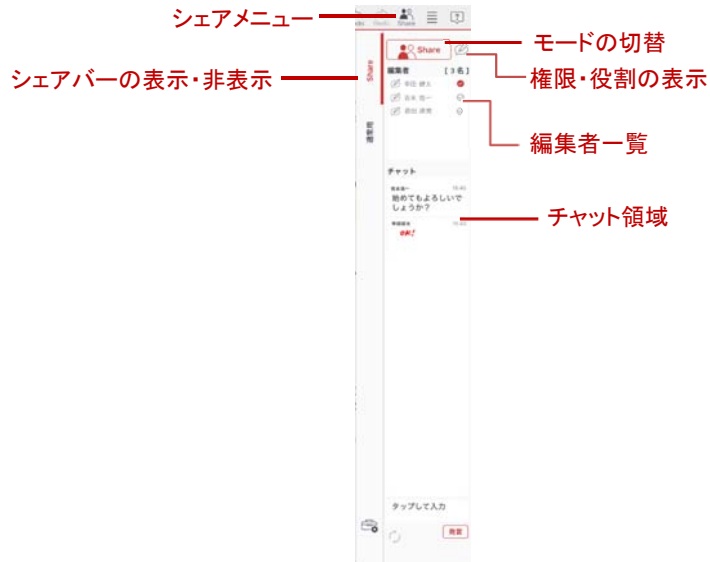
<自分のノートのページを新規のシェアノートにする>

1. ページ一覧でページのサムネイルを長押しし、表示されるメニューの「シェアノート作成」をタップします。
2. 「新規作成」をタップし、シェアノートの情報を設定します。
3.  をタップすると、自分のノートに戻ります。

<自分のノートのページを既存のシェアノートに挿入する>

1. ページ一覧でページのサムネイルを長押しし、表示されるメニューの「シェアノート作成」をタップします。
2. 「既存のシェアノートに挿入」をタップし、シェアノートを選びます。
* デイリーページは、該当する日付の最後に入ります。
* 自由ページは、選んだシェアノートの最後のページに挿入されます。
3.  をタップすると、自分のノートに戻ります。

ツールボックス-Share



31

シェアメニュー

シェアノートの作成・配布やミーティングの設定・進行を行うためのメニューを表示します。

* 「発表者になる」「書記になる」「ミーティング名/開催日」にはミーティングオプション(別売)が必要です。

モードの切替

シェアノート編集中に、シェアモードとプライベートモードを切り替えます。



シェアモードのときに表示されます。タップするとプライベートモードに切り替わります。シェアモードで書き込んだ内容は、編集者全員にシェアされます。



プライベートモードのときに表示されます。タップするとシェアモードに切り替わります。プライベートモードに書き込んだ内容は、ほかの編集者には見えません。自分用のメモ書きなどはプライベートモードで書き込みます。プライベートモードで下書きしておいてから、シェアレイヤーに移すこともできます。

権限・役割の表示

編集可能メンバーは、進行係になります。発表者がいるときは、操作に制限があります。

	進行係
	書記
	発表者
	シェアノートの作成者

* 「発表者」「書記」にはミーティングオプション(別売)が必要です。

編集者一覧

現在編集中の人数、編集者のニックネームと権限・役割を示すアイコンが表示されます。

シェアバーの表示/非表示

シェアバーを開いたり閉じたりします。

チャット領域





テキストや手書きでチャットします。

音声の録音・再生

ノートの編集中に音声を録音・再生する方法を説明しています。

音声を録音する



1. ノート編集画面で  をタップして、パレットを表示します。
2. パレットの  をタップして、録音を始めます。
録音中はアイコンが  に変わり、ステータスバーが赤く表示されます。
また、録音されている音声の大きさにより、このアイコンのマイク部分に表示されるレベルメーターがリアルタイムで変わります。
* 録音中、ほかのアプリに切り替えても、録音は続けられます。
3. パレットの  をタップして、録音を停止します。
録音の開始～停止までの音声は、**レコード**としてノートに保存されます。

注意：音声を録音するには、マイクへのアクセスを許可してください

アクセスを求めるメッセージが表示されたときは、許可してください。
アクセス権がないことを知らせるメッセージが表示されたときは、ホーム画面の「設定」>「プライバシー」の「マイク」で「eYACHO」をオンにします。

音声を再生する



1. ノート編集画面で をタップして、パレットを表示します。
* の ▶ は、デリーページ表示中は、その日に録音された音声ノートが含まれるときに表示されます。自由ページ表示中は、録音された日付に関わらず、ノートに音声が含まれるときに表示されます。
2. パレットの をタップします。
画面下部に再生バーが、左側にプレイリストが表示されます。
3. 再生バーの をタップして再生します。
再生バーのスライダーをドラッグすると、再生する位置を調整できます。

<レコードが複数ある場合>

- プレイリストでレコードを選ぶと、そこから再生されます。
- 同時に、そのレコードの録音開始時刻に表示されていたページに切り替わります。

ヒント：レコードのタイトルを変更・削除する

プレイリストに表示されるレコードのタイトルは、レコードを長押しし、表示されるメニューの「タイトル」をタップして変更できます。

- * 録音した直後のレコードは、「録音？」というタイトルになっています。
- レコードを削除するときは、レコードを長押しし、表示されるメニューの「削除」をタップします。

ヒント：文字やユニットを選んで音声を再生する


録音中に文字やユニットが作成されたときは、これらを選んで、表示されるメニューの「音声」>「作成時刻から再生」をタップすると、作成された時点から音声を再生できます。



インポート・エクスポート

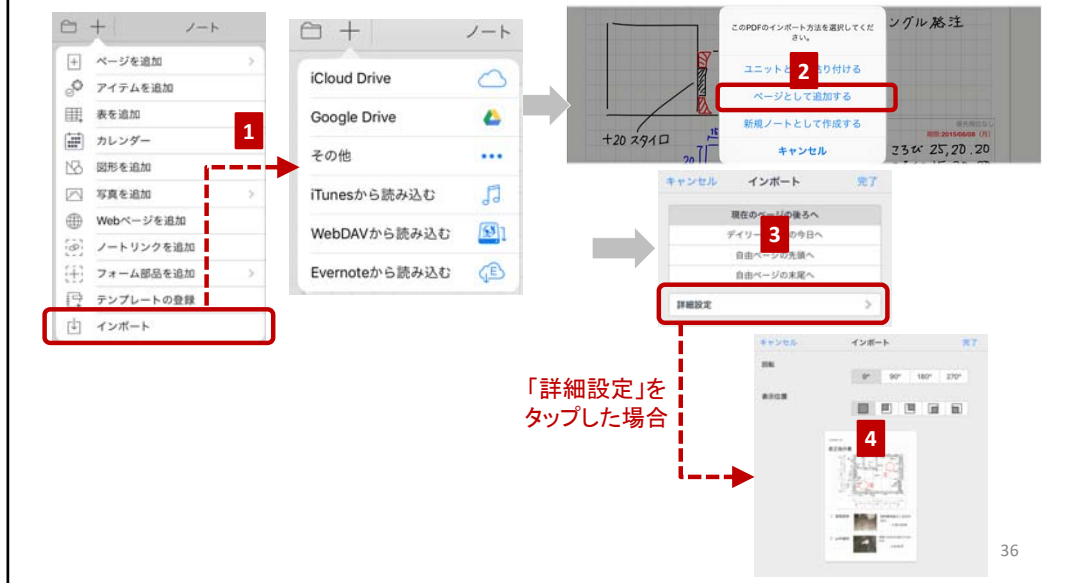
ノートをインポート・エクスポートしたり、チームメンバーと共有したりする方法を説明しています。

* インポート・エクスポート方法によっては、インポート元やエクスポート先の登録・ログイン・アカウントの選択などが必要です。画面に従って操作してください。

詳しくは、 > 「マニュアル」からマニュアルをご覧ください。

PDFをインポートする(1)

方法1. PDFを背景に読み込んだページを追加する



PDFは、次の方法でノートにインポートできます。

方法1. PDFを背景に読み込んだページを追加する

ノートにページを追加して、その背景にPDFを読み込みます。
PDF1ページにつき、1ページが追加されます。



方法2. PDFの枠をページに貼り付ける

ノートのページに、PDFのページを枠（PDFユニット）として貼り付けます。
1ページに複数のPDFユニットを貼り付けることができます。

注意：インポートしたPDFの内容そのものを編集することはできません

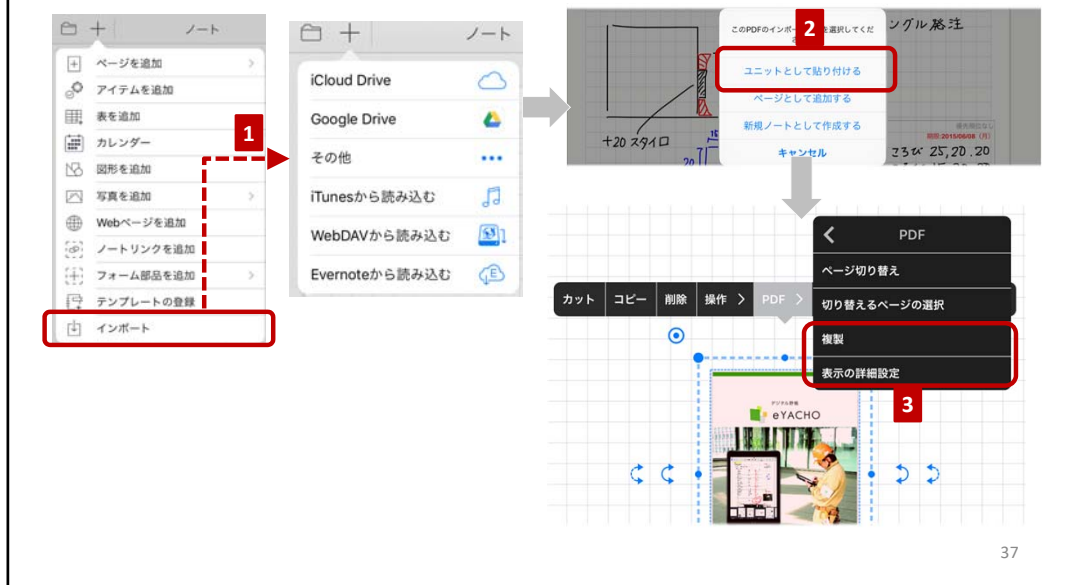
インポートした内容の上にペンで書いたり、写真やアイテムを追加したりして、自由に記入することはできます。

方法1. PDFを背景に読み込んだページを追加する

1. PDFをインポートするノートを開き、 > 「インポート」をタップして、任意の方法でPDFを開きます。
 2. 「ページとして追加する」を選びます。
 3. インポート先を選び、「完了」または「詳細設定」をタップします。
PDFの向きを変える場合や、余白を設ける場合は、「詳細設定」をタップして手順4.へ進みます。
 4. 回転角度や表示位置を選び、「完了」をタップします。
- * PDFの表示位置や表示サイズは、インポートしたあとも変更できます。そのページを表示して > 「PDFの表示位置」をタップし、枠や●マークをドラッグして変更します。

PDFをインポートする(2)

方法2. PDFの枠をページに貼り付ける



方法2. PDFの枠をページに貼り付ける

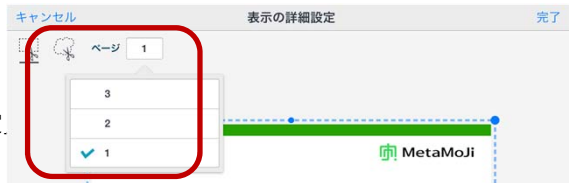
1. PDFをインポートするノートを開き、 > 「インポート」をタップして、任意の方法でPDFを開きます。
2. 「ユニットとして貼り付ける」を選びます。
PDFの1ページ目が、PDFユニットとしてページに貼り付けられます。
3. PDFのページを変更・追加します。

貼付けた直後 PDFのほかのページに変える PDFのほかのページの枠も追加する



<PDFのほかのページに変える>

PDFユニットを選んで、表示されるメニューの「PDF」>「表示の詳細設定」をタップし、ページを指定します。

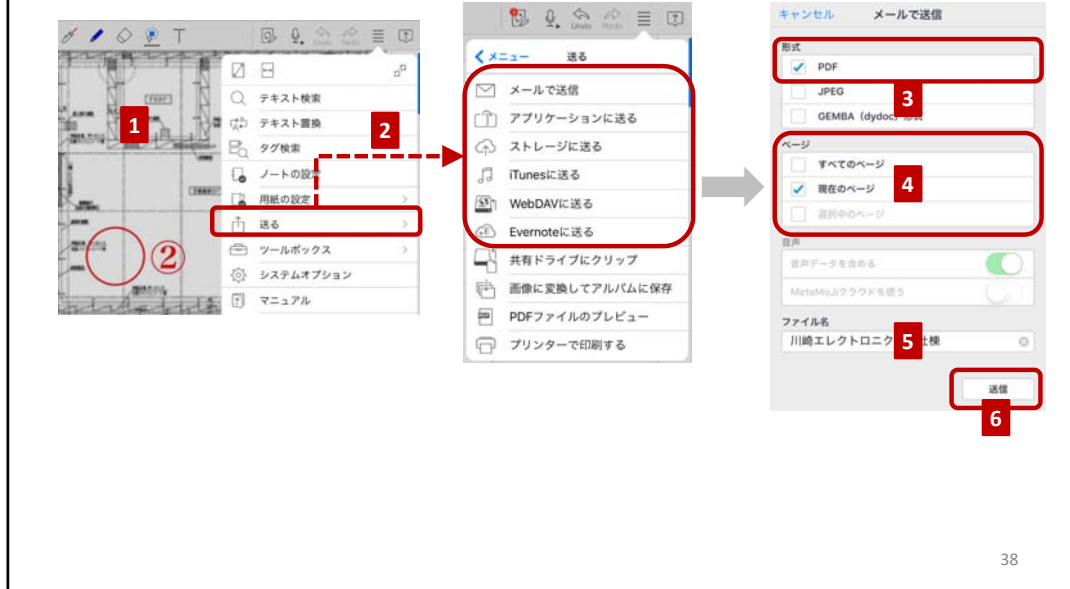




<PDFのほかのページの枠も追加する>

PDFユニットを選んで、表示されるメニューの「PDF」>「複製」をタップし、ページをタップして選びます。



PDFをエクスポートする



- 一部のページをエクスポートするときは、そのページを表示するか、ページ一覧で複数ページを選びます。
 - * 複数ページを選ぶときは、ノート編集画面下部の  をタップしたあと、ページ一覧でサムネイルを長押しし、表示されるメニューの「複数選択モード」をタップしてページを選びます。
-  > 「送る」をタップして、エクスポート方法を選びます。
- 「形式」で「PDF」を選びます。
- 対象のページを「ページ」で指定します。
- ファイル名を設定します。
- 「送信」または「送る」をタップします。

コンテンツのカスタマイズと配信

アイテム・テンプレート・ツールボックスをカスタマイズする方法を説明しています。
カスタマイズした内容は、チームで共有して、チームメンバーに配信することができます。

よく使う内容を登録する - アイテム



同じ内容を繰り返し記入したり貼り付けたりする場合は、アイテムとして登録しておく便利です。ページに書いた文字や、貼り付けた図形・写真・イメージ・ユニットを、いろいろな組み合わせで登録できます。

あらかじめ用意されているアイテムも、必要事項を記入した状態で登録しておく、ページに追加するたびに記入する手間が省けます。

登録したアイテムは、 > 「アイテムを追加」からアイテムを追加するとき、アイテム一覧で選べるようになります。

自分だけで使う場合は**マイアイテム**として、チームで共有して使う場合は**共有アイテム**として、登録します。

1. アイテムとして登録する内容を、投げ縄モードで囲むようにドラッグして選びます。
 2. 表示されるメニューの「操作」 > 「アイテムの登録」をタップします。
 3. アイテム名を入力します。
 4. 登録先を選びます。
共有アイテムとして登録する場合は、共有先チームを選びます。
 5. 「完了」をタップします。
登録したアイテムは、アイテム一覧の「マイアイテム」または「共有アイテム」に追加されます。
共有アイテムとして登録した場合は、共有先チームのメンバーのアイテム一覧にも表示されます。
- * アイテムとして登録した内容に日付が含まれる場合、この日付は、アイテムをページに追加するときに自動で変わります。



- * ページ全体を登録したいときは、アイテムを追加したページをテンプレートとして登録します。
→ P.39 よく使うページを登録する - テンプレート

よく使うページを登録する - テンプレート



ページを追加するたびに、同じ内容を記入したり、同じアイテムや写真を追加したりする場合は、それらを記入・追加したページをテンプレートとして登録しておくとう便利です。

例えば、ページにアイテムの表を追加して、必要事項を記入し、テンプレートとして登録しておく、アイテムの追加や内容の記入などの手間が省けます。

登録したテンプレートは、**+** > 「ページを追加」 > 「用紙を選んで追加」 からページを追加するときに、テンプレート一覧で選べるようになります。

自分だけで使う場合は**マイテンプレート**として、チームで共有して使う場合は**共有テンプレート**として、登録します。

1. テンプレートとして登録するページを表示します。
テンプレートに記入したり、アイテムを追加してデータを記入したりして、ページを用意します。
既存のページから、不要な内容を削除して用意することもできます。
2. **+** > 「テンプレートの登録」をタップします。
3. テンプレート名を入力します。
4. 登録先を選びます。
共有テンプレートとして登録する場合は、共有先チームを選びます。
5. 「完了」をタップします。
登録したテンプレートは、テンプレート一覧の「マイテンプレート」または「共有テンプレート」に追加されます。
共有テンプレートとして登録した場合は、共有先チームのメンバーのテンプレート一覧にも表示されます。

* テンプレートとして登録したページに日付が含まれる場合、この日付は、テンプレートを使ってページを追加するときに自動で変わります。



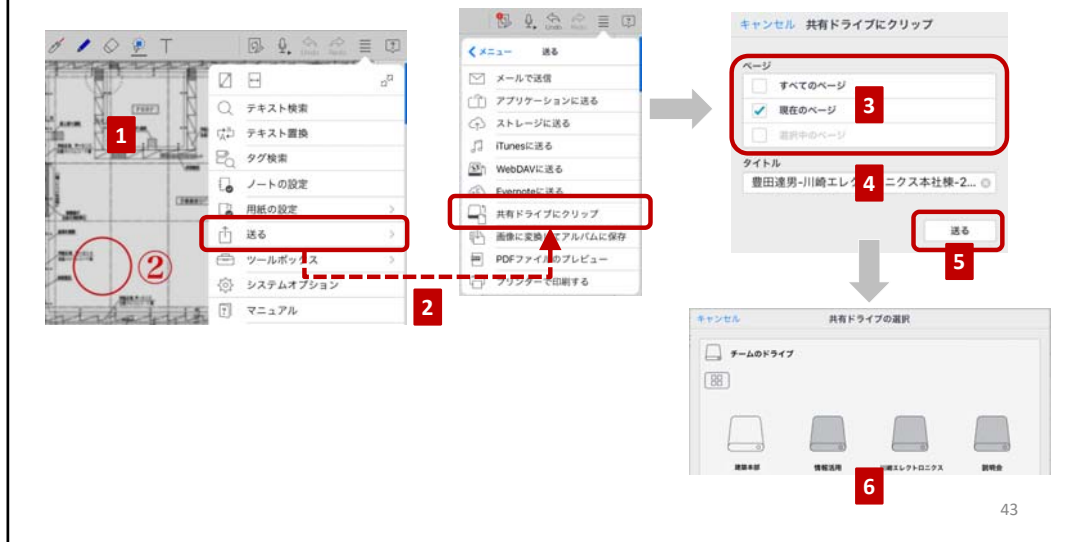
よく使うツールや機能を登録する - ツールボックス



1. ペンやペンセットを登録する場合は、ペンの種類や色・太さを設定しておきます。
 - * 現在使っているペンやペンセットを登録できます。複数のペンセット登録する場合は、ツールボックスを作成したあと、そのツールボックスにペンセットを追加します。
2. ノート編集画面で ≡ > 「ツールボックス」 > 「ツールボックスを新規作成」をタップします。
3. 登録先を選びます。
 ツールボックスを自分だけで使う場合は「(個人)」を、チームで共有して使う場合は共有先チームを選びます。
 - * ツールボックスを作成したあとは、登録先を変更できません。
4. 「新規ツールボックス」と表示された欄をタップして、作成するツールボックスの名前を入力します。
5. + をタップして、ツールボックスに登録する項目を選びます。
 - 現在のペンセットを登録したときは、追加された「ペンセット」をタップしてペンセット名を入力します。
 - ペンセットではなく、ペンを1つずつ登録する場合は「コマンド登録」からペンを選びます。
 - 項目の区切りを設けるときは「セパレータ追加」をタップします。
 追加した区切りには「セパレータ」という名前が付いています。項目の見出しなどを表示したいときは、名前を変更します。区切りだけを入れたいときは、この名前を削除します。
 選んだものが一覧に追加されます。
6. 右側にある ≡ をドラッグして、項目を並べ替えます。
 - * 不要な項目は - をタップし、「削除」をタップして削除します。
7. 項目の追加や並べ替えが終わったら「完了」をタップします。
8. 作成したツールボックスの表示を確認します。
 手順3.で共有先チームを選んだ場合は、そのメンバーのノート編集画面にも表示されます。

ページをほかのノートで利用する -ページクリップ(1)

Step 1. ページクリップを共有ドライブに保存する



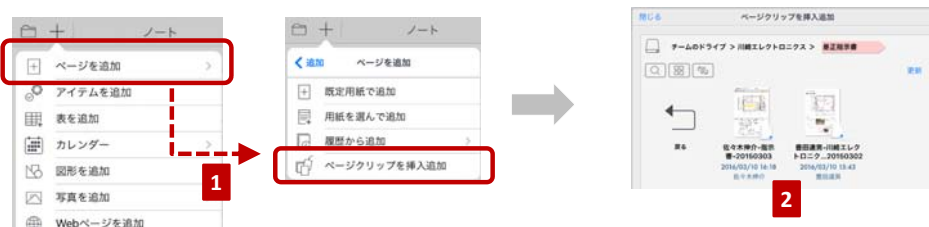
ページをページクリップとして共有ドライブ置いておくと、ほかのノートに追加して利用できます。

Step 1. ページクリップを共有ドライブに保存する

1. 一部のページを保存するときは、そのページを表示するか、ページ一覧で複数ページを選びます。
 - * 複数ページを選ぶときは、ノート編集画面下部の をタップしたあと、ページ一覧でサムネイルを長押しし、表示されるメニューの「複数選択モード」をタップしてページを選びます。
2. > 「送る」 > 「共有ドライブにクリップ」をタップします。
3. 保存するページを「ページ」で指定します。
4. 必要に応じて、タイトルを変更します。
初期状態では「(名前) - (ノートタイトル) - (日付)」というタイトルが設定されています。
5. 「送る」をタップします。
6. 保存先の共有ドライブやフォルダを選び、「完了」をタップします。
指定したページがページクリップとして保存されます。


ページをほかのノートで利用する -ページクリップ(2)

Step 2. ページクリップからページを追加する



44

Step 2. ページクリップからページを追加する

1. ページクリップを追加したい位置の、1つ前のページを表示して、 > 「ページを追加」 > 「ページクリップを挿入追加」をタップします。
2. 追加したいページクリップを選び、タップします。
選んだページクリップがページとして追加されます。

注意： ページクリップはページ追加用のデータです

初期状態ではノート一覧画面に表示されません。
「すべてのノートを表示」をタップすると表示されますが、
ノートと異なり、タップしても開くことはできません。



土木テンプレートを使う

土木テンプレートを使う方法を説明しています。

水準測量（器高式）を使う


Step 1. ページ追加から用紙を選んで追加する

用紙を選んで追加するから「水準測量（器高式）」を選びます。



46

Step 1. ページ追加から用紙を選んで追加する

1.  > 「ページを追加」 > 「用紙を選んで追加」をタップして、テンプレート一覧から「水準測量（器高式）」を選びます。

薄緑の部分に入力します。

The screenshot shows the 'Leveling (Instrument Height Method)' page template. The page has a header with the title '水準測量(器高式)' and a table with columns for 'No.', 'Date', 'Instrument Height', 'Sight Reading', 'Backsight Reading', 'Intermediate Reading', 'Fore-sight Reading', and 'Remarks'. The table rows are highlighted in light green.

アカウント情報に登録している名前が自動的に入力される設定になっています。

補足：追加したページの種類と日付

追加したときに表示されているページと同じ種類（デイリーページまたは自由ページ）になります。
デイリーページの場合、追加した日付になります。

水準測量（器高式）を使う

Step 2. 箇所・日付などを入力する

次のように入力します。

水準測量(器高式)

箇所 東区間 A-12 **1** 器械 幸田
 手元 山田太郎
 日付 2017/07/14 **2** 天気 晴れ **3** 測器 AT-B2 **4**

測点	BS(後視) (m)	HI(器械高) (m)	FS(前視) (m) もりかえ点 中間点	GH(地盤高) (m)	PH(計測高) (m)	差 (mm)	備考	測点	PH(計測高) (m)

47

Step 2. 箇所・日付などを入力する

🗨️ をタップして投げ縄モードにします。

1. 「箇所」の入力欄をタップします。
文字が入力できる状態になります。
(例) 東区間A-12 と入力します。
2. 「日付」の入力欄をタップします。
カレンダーから選びます。
3. 「天気」の入力欄をタップします。
天気のリストから選びます。
4. 「手元」「測器」も入力欄をタップし、入力
(例)

手元：山田太郎

測器：AT-B2

水準測量（器高式）を使う

Step 3. 水準測量テンプレートに入力する

右の図の値を順に入力します。

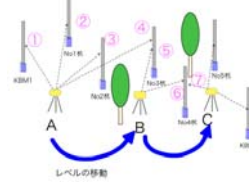
水準測量(器高式)

箇所 東区間A-12

日付 2017/07/25

天気 晴れ

測点	BS(後視) (m)	IH(器械高) (m)	FS(前視) (m)	中間点	GH(地盤高) (m)
1 KBM1	2	1.250	11.610		10.360
3 No1杭			4	2.780	8.830
5 No2杭					10.350
7 No3杭	9	1.900	10.930	8	2.580
10 No4杭	12	1.620	10.740	11	1.810



- KBM1 ① 1,250 (BS: 後視)
- No1杭 ② 2,780 (TP: もりかえ点)
- No2杭 ③ 1,260 (IP: 中間点)
- No3杭 ④ 2,760 (TP)
- ⑤ 1,900 (BS)
- No4杭 ⑥ 1,810 (TP)
- ⑦ 1,620 (BS)

48

Step 3 左側の表に入力する

🗨️ をタップして投げ縄モードにします。
表をタップし、表計算モードにします。

- 「測点」のセルをダブルタップします。
文字が入力できる状態になります。「T」をタップし、入力します。
(例) KBM1
- 続けて、右側のセルをタップします。
数値キーボードを使って数値を入力します。
(例) 1.250
- 「KBM1」の下のセルをタップします。「T」をタップし、入力します。
(例) No1杭
- 「もりかえ点」のセルをタップし、数値キーボードを使って数値を入力します。
(例) 2.780
- 「No1杭」の下のセルをタップします。「T」をタップし、入力します。
(例) No2杭
- 「中間点」のセルをタップし、数値を入力します。
(例) 1.260
- 「No2杭」の下のセルをタップします。「T」をタップし、入力します。
(例) No3杭
- 「もりかえ点」のセルをタップし、数値を入力します。
(例) 2.580
- 「No3杭」の右側のセル (BS (後退)) をタップし、数値を入力します。
(例) 1.900
- 「No3杭」の下のセルをタップします。「T」をタップし、入力します。
(例) No4杭
- 「もりかえ点」のセルをタップし、数値を入力します。
(例) 1.810
- 「No4杭」の右側のセル (BS (後退)) をタップし、数値を入力します。
(例) 1.620

をタップし、入力を終わります。

表計算モード

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	測点	BS(後視)	IH(器械高)	FS(前視) (m)	GH(地盤高)	PH(計算高)	差	
2		(m)	(m)	もりかえ点	中間点	(m)	(mm)	
3								
4								
5								
6								



数値キーボード



水準測量（器高式）を使う

補足. 計画高を入力する

水準測量(器高式)

箇所 東区間A-12

日付 2017/07/25

天気 晴れ

器械 幸田洋介

手元 山田太郎

測器 AT-B2

測点	BS(後視)	IH(器械高)	FS(前視) (m)		GH(地盤高)	PH(計画高)	差	備考	測点	PH(計画高)
	(m)	(m)	もりかえ点	中間点						(m)
KBM1	1,250.000								1	2
No1杭			2,530.000						3	4
No2杭				1,160.000						
No3杭	1,825.000		2,760.000							
No4杭	1,530.000		1,710.000							

49

補足 計画高を入力する

1. KBM1 を入力します。
2. 10.360 を入力します。
3. No1杭 を入力します。
4. 8.845 を入力します。

計画高と現況との高低差を自動計算します。

箇所 東区間A-12

手元 山田太郎

日付 2017/07/25

天気 晴れ

測器 AT-B2

測点	BS(後視)	IH(器械高)	FS(前視) (m)		GH(地盤高)	PH(計画高)	差	備考	測点	PH(計画高)
	(m)	(m)	もりかえ点	中間点						(m)
KBM1	1.250	11.610			10.360	10.360	0		KBM1	10.360
No1杭			2.780		8.830	8.845	15		No1杭	8.845
No2杭				1.260	10.350					

逆トラバース（放射）を使う

Step 1. ページ追加から用紙を選んで追加する

用紙を選んで追加するから「逆トラバース（放射）」を選びます。



50

Step 1. ページ追加から用紙を選んで追加する

1. > 「ページを追加」 > 「用紙を選んで追加」をタップして、テンプレート一覧から「逆トラバース（放射）」を選びます。

薄緑の部分に入力します。

逆トラバース（放射）

日時 2018/02/27 天気 天気未入力

基準点	X座標 (m)	Y座標 (m)	距離	方向角 (度)	備考
基準点			距離-測距		
測点	X座標 (m)	Y座標 (m)	測角 (度)	方向角 (度)	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

座標計算

基準点 X(m)	基準点 Y(m)	基準点 Z(m)
測点 X(m)	測点 Y(m)	測点 Z(m)
距離	測角	方向角

アカウント情報に登録している名前が自動的に入力される設定になっています。

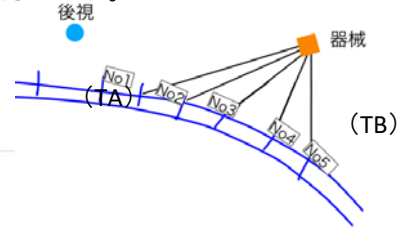
補足：追加したページの種類と日付

追加したときに表示されているページと同じ種類（デイリーページまたは自由ページ）になります。
 デイリーページの場合、追加した日付になります。

逆トラバース（放射）を使う

Step2. 逆トラバース（放射）の表に入力する①

右の図の器械位置と、後視位置の値を順に入力します。



逆トラバース（放射）

箇所 測量箇所を入力

日付 2017/07/25

天気 天気を入力

測器 測器名を入力

基準点	X座標 (m)	Y座標 (m)	距離 (m)	方向角 (度) (分) (秒)			備考
				測角 (度) (分) (秒)	距離 (m)	方向角 (度) (分) (秒)	
後視	1 TA	2 152.560	3 58.232	器械→後視	92.296	272 13 14	
器械	4 TB	5 148.984	6 150.459				
測点	X座標 (m)	Y座標 (m)	測角 (度) (分) (秒)	距離 (m)	方向角 (度) (分) (秒)		
1							
2							
3							
4							

51

Step2 逆トラバース（放射）の表に入力する①

🗨️ をタップして投げ縄モードにします。

📄 をタップし、表計算モードにします。

- 「後視」の右セルをダブルタップし、「T」をタップして入力します。
(例) TA
 - 続けて、右側のセルをタップしてX座標を入力します。
(例) 152.560
 - 続けて、右側のセルをタップしてY座標を入力します。
(例) 58.232
 - 「器械」の右セルをダブルタップし、「T」をタップして入力します。
(例) TB
 - 続けて、右側のセルをタップしてX座標を入力します。
(例) 148.984
 - 続けて、右側のセルをタップしてY座標を入力します。
(例) 150.459
- ✅ をタップし、入力を終わります。

逆トラバース（放射）を使う

Step2. 逆トラバース（放射）の表に入力する②

右の図のNo1～No5の値を順に入力します。



基準点		X座標	Y座標	距離			方向角			備考
		(m)	(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)	(度)	(分)	
後視	TA	152.560	58.232	器械→後視	92.296	272	13	14		
器械	TB	148.984	150.459							
測点		X座標	Y座標	測角			距離			備考
		(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)	(m)	(度)	(分)	
1	No1	118.225	127.350	304	41	48	38.473	216	55	2
2	No2	110.750	133.986	291	5	17	41.632	203	18	31
3	No3	102.650	139.843	280	41	4	47.535	192	54	17
4	No4	94.006	144.862	273	35	33	55.262	185	48	47
5	No5	84.904	148.994	269	5	21	64.097	181	18	35
6										
7										

52

Step 2 逆トラバース（放射）の表に入力する①

🗨️ をタップして投げ縄モードにします。

表をタップし、表計算モードにします。

1. 1の右側のセルをタップします。「T」をタップし、入力します。
(例) 「No1」
2. 「No1」の右側のセルをタップし、X座標を入力します。
(例) 118.225
続けて、Y座標を入力します。
(例) 127.350
3. 同様に、「No2」～「No5」と、X座標・Y座標の値を入力します。

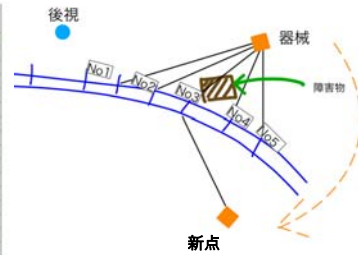
	X座標	Y座標
No2	110.750	133.986
No3	102.650	139.843
No4	94.006	144.862
No5	84.904	148.994

逆トラバース（放射）を使う

💡 障害物があって見通せないとき

障害物により丁張り設置場所が見通せない場合、新点を設置して解決します。
 新点を設置するには、テンプレート右下にある座標計算を使います。
 ※新点の基準点は、下表の器械座標になります。

基準点	X座標 (m)	Y座標 (m)	距離 (m)	方向角 (°)	備考	
後視	TA	102.860	88.232	92.296	272 13 14	
器械	TB	148.984	150.459			
測点	X座標 (m)	Y座標 (m)	距離 (m)	方向角 (°)		
1	No1	118.225	127.350	304 41 48	38.473 216 56 2	
2	No2	110.750	133.988	291 5 17	41.632 203 18 31	
3	No3	102.650	139.843	280 41 4	47.538 192 54 17	障害物あり
4	No4	94.006	144.862	273 35 33	55.262 185 48 47	
5	No5	84.904	148.984	269 5 21	64.097 181 18 35	
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						



基準点 Xa	148.984	求点 Xp	50.345
基準点 Ya	150.459	求点 Yp	145.677
方向角(度)	48		
(°)	32		
距離	88.756		

53

💡 障害物があって見通せないとき

- 💡 をタップして投げ縄モードにします。
- 表をタップし、表計算モードにします。

- 「基準点Xa」「基準点Ya」には、「器械」の座標をコピーします。
 上の表の「器械」のX座標「148.984」をタップし、再度タップするとメニューが表示されます。
 「コピー」をタップします。
 「基準点Xa」の右セルをタップして、表示されるメニューの「ペースト」をタップします。
 ※メニューが表示されない場合は、再度セルをタップします。
- 同様に「器械」のY座標「150.459」を「基準点Ya」にコピーします。
- 「方向角(度)」は、新点となる場所にプリズムを置き、その方向角と距離をトータルステーションで計測した値を入力します。

新点のX座標・Y座標が「求点Xp：50.345」「求点Yp：145.677」になります。

逆トラバース（放射）を使う

Step3. アイテムを追加する

No3を求めるには、アイテムから「逆トラバース（放射）」を追加します。

1




The screenshot shows a menu titled 'アイテム' (Items) with a red box around the '逆トラバース (放射)' (Reverse Traversal (Radiation)) option. An arrow points from this menu to a table.

逆トラバース (放射)						
始点	X座標	Y座標	距離	方向角	備考	
終点						
距離						
始点	X座標	Y座標	距離	方向角		
1						
2						
3						
4						
5						
6						

54

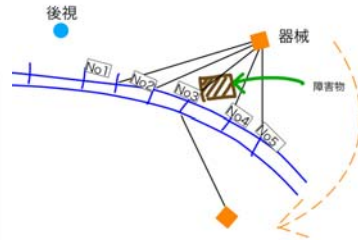
Step4 アイテムを追加する

1.  > 「アイテムを追加」をタップし、「逆トラバース（放射）」を追加します。

逆トラバース（放射）を使う

Step4. No3を求める①

基準点、測点を入力します。



基準点	X座標 (m)	Y座標 (m)	距離 (m)	方向角 (度)	備考
後視	102.650	58.232			
器械	148.984	150.459	92.296	272	13 14

測点	X座標 (m)	Y座標 (m)	距離 (m)	方向角 (度)	備考					
1	No1	118.225	127.350	304	41 48	38.472	216	55	2	
2	No2	110.750	133.986	291	5 17	41.632	203	18	31	
3	No3	102.650	139.843	280	41 4	47.538	192	54	17	障害物あり
4	No4	84.006	144.962	273	35 33	55.262	185	48	47	
5	No5	84.904	148.994	269	5 21	64.097	181	18	35	

値をコピーする

座標計算	結果
基準点 Xa	148.984
基準点 Ya	150.459
方向角(度)	182
(分)	46
(秒)	32
距離	98.756

2

値を入力する

逆トラバース (放射)	X座標	Y座標	距離	方向角	備考
後視	148.984	150.459	98.756	2 46 32	
器械	90.345	145.677			

測点	X座標 (m)	Y座標 (m)	距離 (m)	方向角 (度)	備考			
1	No3	102.650	139.843	35 1 26	52.629	303	38	8

アイテム

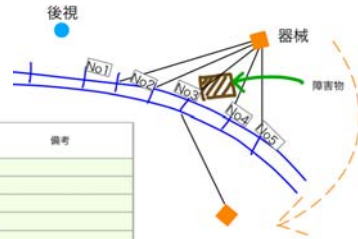
Step 5 No3を求める①

基準点を入力します。

1. 上の表から、「器械」の座標をアイテムの「後視」座標にコピーします。
2. 「座標計算」の表から、「求点」の座標をアイテムの「器械」座標に入力します。

逆トラバース（放射）を使う Step6. No3を求める②

上の表から、No3の値をコピーします。



基準点		X座標		Y座標		距離			備考		
		(m)	(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)				
後視	TB	148.984	150.459	器械→後視	98.755	2	46	32			
器械	新点	50.345	145.677								
測点		X座標		Y座標		測角		距離		方向角	
		(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)	(m)	(度)	(分)	(秒)	
1	No3	102.650	139.843	350	51	36	52.629	353	38	8	
2											
3											
4											
5											
6											

56

Step 6 No3を求める②

1. 「No3」をタップし、●を「139.843」までドラッグします。

基準点		X座標		Y座標		距離			備考		
(m)	(m)	(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)	(m)	(度)	(分)	(秒)	
後視	TA	152.560	58.232	器械→後視	92.296	272	13	14			
器械	TB	148.984	150.459								
測点		X座標		Y座標		測角		距離		方向角	
(m)		(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)	(m)	(度)	(分)	(秒)	
1	No1	119.225	127.200	304	41	48	38.473	218	55	2	
2	No2	119.750	123.988	311	5	17	41.832	203	18	21	
3	No3	102.650	139.843	380	41	4	47.535	192	54	17	17
4	No4	94.006	144.882	273	35	33	55.282	185	48	47	
5	No5	84.904	148.984	269	5	21	64.097	181	18	35	

基準点		X座標		Y座標		距離			備考		
(m)	(m)	(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)	(m)	(度)	(分)	(秒)	
後視	TA	152.560	58.232	器械→後視	92.296	272	13	14			
器械	TB	148.984	150.459								
測点		X座標		Y座標		測角		距離		方向角	
(m)		(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)	(m)	(度)	(分)	(秒)	
1	No1	119.225	127.200	304	41	48	38.473	218	55	2	
2	No2	119.750	123.988	311	5	17	41.832	203	18	21	
3	No3	102.650	139.843	380	41	4	47.535	192	54	17	17
4	No4	94.006	144.882	273	35	33	55.282	185	48	47	
5	No5	84.904	148.984	269	5	21	64.097	181	18	35	

2. 「コピー」をタップします。
3. アイテムの「逆トラバース（放射）」の測点のセルをタップします。
メニューが表示されます。
※メニューが表示されない場合は、再度セルをタップします。
4. 「ペースト」をタップします。

基準点		X座標		Y座標		距離			備考		
(m)	(m)	(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)	(m)	(度)	(分)	(秒)	
後視	TB	148.984	150.459	器械→後視	98.755	2	46	32			
器械	新点	50.345	145.677								
測点		X座標		Y座標		測角		距離		方向角	
(m)		(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)	(m)	(度)	(分)	(秒)	
1	No1	119.225	127.200	304	41	48	38.473	218	55	2	
2	No2	119.750	123.988	311	5	17	41.832	203	18	21	
3	No3	102.650	139.843	380	41	4	47.535	192	54	17	17
4	No4	94.006	144.882	273	35	33	55.282	185	48	47	
5	No5	84.904	148.984	269	5	21	64.097	181	18	35	

No3のX座標・Y座標が挿入され、No3の側角・距離・方向角が計算されます。

基準点		X座標		Y座標		距離			備考		
(m)	(m)	(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)	(m)	(度)	(分)	(秒)	
後視	TB	148.984	150.459	器械→後視	98.755	2	46	32			
器械	新点	50.345	145.677								
測点		X座標		Y座標		測角		距離		方向角	
(m)		(m)	(m)	(度)	(分)	(秒)	(m)	(度)	(分)	(秒)	
1	No1	119.225	127.200	304	41	48	38.473	218	55	2	
2	No2	119.750	123.988	311	5	17	41.832	203	18	21	
3	No3	102.650	139.843	350	51	36	52.629	353	38	8	
4	No4	94.006	144.882	273	35	33	55.282	185	48	47	
5	No5	84.904	148.984	269	5	21	64.097	181	18	35	

新点にトータルステーションを設置し、上記計算結果をもとにNo.3の位置を算出します。


搭載土木アイテム

- トラバース放射測量
- 逆トラバース放射測量
- 後方交会法
- 方向角計算
- 座標計算


測点	点名	X座標	Y座標	距離	方位角	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

測点	点名	X座標	Y座標	距離	方位角	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

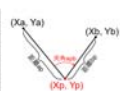
測点	点名	X座標	Y座標	距離	方位角	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						



測点	点名	X座標	Y座標	距離	方位角	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

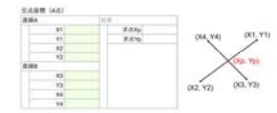
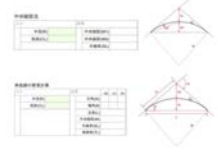
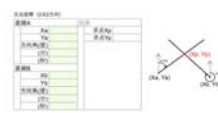


測点	点名	X座標	Y座標	距離	方位角	備考
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						




搭載土木アイテム

- 中央縦距法
- 単曲線要素
- 交点 (4点)
- 交点 (3点1方向)
- 交点 (2点2方向)
- 垂線 (2点)
- 垂線 (方向角)



iOS版とWindows版の機能差異

eYACHO for Business Ver.3			
機能	機能の操作など	iOS版	Windows版
カレンダー	追加・編集	○	表示のみ
検索	テキストユニット・表に含まれるテキストが対象	○	テキストユニットのみ
置換	テキストユニット・表に含まれるテキストが対象	○	テキストユニットのみ
テキスト	「コピーしたテキストを挿入追加」	○	×
	複数のテキストユニットをまとめて書式変更	○	×
後から変換	後から変換後の確認ダイアログ	○	×
ドロウユニット	マウスの右クリックでコンテキストメニューを表示	×	○
	TRL+X：カット	×	○
	DEL：削除	×	○
ページ一覧	ページ切替ボタンの長押しによる早送り	○	×
表示形式	日付	H30.02.03 H30.2.3 H30.2 H30	平成30.02.03 平成30.2.3 平成30.2 平成30
送る	メールで送信	○	×
	ストレージに送る	○	×
	iTunesに送る	○	×
	WebDAVに送る	○	×
	Evernoteに送る	○	×
	画像に変換してアルバムに保存	○	×
	PDFファイルのプレビュー	○	×
	ファイルに保存する	×	○
音声	音声のインポート	○	×
	ページ一覧での音声のリンク	○	×

本書では、eYACHO for Business の概要や基本的な操作方法について説明しています。
特に記載がない場合は、iPad (iOS 9 ・縦向き) でeYACHO for Businessを使って説明しています。
より詳しくは、 > 「マニュアル」からマニュアルをご覧ください。

- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPadは、Apple Inc.の商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社MetaMojiが作成したものであり、本書の著作権は、株式会社MetaMojiに帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

2017年10月17日 © 2017 株式会社MetaMoji

